

2 0 2 7 年 度

大 学 院 学 生 募 集 要 項

博 士 前 期 課 程
(学内進学者選抜試験)

青 山 学 院 大 学
大学院社会情報学研究科

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人にとりて社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おののおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

個人情報の取り扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は、
①願書受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続きとこれに付随する業務を行うために利用します。

青山学院大学大学院社会情報学研究科 教育研究上の目的

人材養成上の目的

インターネットやウェブに象徴される現代社会では、情報システムそのもの、情報システムと人や組織との係わり方、あるいは人や組織や社会そのものに係わった明暗様々な問題が止め処なく噴出し顕在化している現状があり、そのような問題の本質を見抜き、自らが問題解決を図れる人材の養成が火急の課題となっている。明らかに、そのような人材の養成は、学部レベルの教育に加えて、更に広い視野に立って精深な学識を授け、社会情報学分野における研究能力を、あるいはその学識に加えて高度の専門性を求められる職業を担うための卓越した能力を有する高度な人材養成を目的とする社会情報学分野の博士レベルの教育体制を整備することにより達成できると考えられ、このような目的を達成するために社会情報学研究科は設置されている。

教育目標

知識基盤社会が抱える輻輳した社会問題を認識し、理学、情報科学、経済学、教育学といった多様な観点から自らが総合的・包括的に問題解決を図れる人材を、既設学部の卒業生のみならず、問題意識を実社会において体感している職業人を入学者と想定して教育にあたることを目的とする。この目的を達成するために、本研究科には社会情報学コースとヒューマンイノベーションコースを置くが（これらのコースの詳細は後述）、前者においてはどちらかと言うと文系、理系という枠組みを超えた視点から問題解決を図ることのできる能力を身につけた高度な人材を養成することが狙いであるのに対して、後者は既に職業人として問題意識を有している者に対して、言わばリカレント教育を授けることにより、自らが問題解決を図れる能力を身につけた人材を養成しようとするところが異なる。しかしながら、そのような違いはあれ、社会情報学研究科の狙いは、人材養成上の目的欄（前述）で示したとおりであり、具体的には次に掲げる「履修モデル」を通して教育目標がどこにあるのか例示する。

■ 履修モデル1

履 修 モ デ ル 名：数理・情報に関して精深な学識を有する高度なアナリストの養成

履修モデルの趣旨：社会科学系の高度な人材養成を目指した履修モデルである。経営・経済概念の深い理解、社会活動、経済活動の分析を重視している。社会政策領域では経済政策の担い手の養成に役立つこと、金融ファイナンス領域では金融アナリストの養成を念頭に置いている。文理融合の本コースだからできることとして、理論と実践の融合により情報技術を駆使した大量データの分析、論理的な取り組みや理論的背景を理解させる教育課程により、「なぜ？」の説明ができる高度な人材の養成を念頭に置いている。

■ 履修モデル 2

履修モデル名：人間・社会・情報に関して精深な学識を有する高度な組織マネジメントの養成
履修モデルの趣旨：人間・社会・情報融合系の高度な人材養成を目指した履修モデルである。人や社会を考える上で必要となる心理や教育に関する基盤の修得、数量的なものに限らず質的な情報の処理能力の修得を目指している。人間・社会・情報融合系からの展開では、人と人、社会と人のコミュニケーションのあり方や組織の設計、組織における意思決定や知識の有効な活用法、経済活動がもたらす人間社会への問題の発見と解決能力の養成に留意し、本コースだからできることとして、経済活動と直結した人間心理の解明、企業や政策における人的要素の解明、そして知識基盤社会が人間に及ぼすさまざまな影響の解明ができる高度な人材の養成を目指している。

■ 履修モデル 3

履修モデル名：組織に関して精深な学識を有する高度な情報システムスペシャリストの養成
履修モデルの趣旨：情報科学系の高度な人材養成を目指した履修モデルである。数理的な基盤、情報を高度に利用するための基盤の修得や、情報システム構築のための幅広い素養を身につける。情報科学系からの展開としては、人や社会に関する問題を理解できる数学・情報教育の担い手の養成、情報通信技術を駆使した地域社会創生の担い手の養成、高度な情報システム設計能力を持つシステムエンジニアの養成等を念頭に置いている。加えて、本コースだからできることとして、組織や心理を理解したシステムエンジニアの養成、企業や政策を理解したシステムエンジニアの養成、社会ニーズの技術への反映を意識できるシステムエンジニアの養成等がその特色となる。

■ 履修モデル 4

履修モデル名：学習のサイエンスとデザインの学識と実践力を持った非営利組織系の高度な人材養成

履修モデルの趣旨：医療看護、介護福祉、アート、教育など、さまざまな公益・非営利団体系の人材像を想定した履修モデルである。持続可能な社会における公共性の担い手として、共同体への参加そのものが学習であり、高度な知性が創発されることを知り、これらとワークショップデザインや学習環境デザインが深く関係していること等、真の学びから生成されることを学習する。そして、人と人、人と組織・集団、人と地域社会、組織・集団と地域社会を結びつける能力や職場の在り方や活動を見直したり、再構成したり、組織変革ができる能力を有する高度で実践的な人材の養成を目指している。

■ 履修モデル 5

履修モデル名：学習のサイエンスとデザインの学識と実践力を持った企業法人系の高度な人材養成

履修モデルの趣旨：企業法人系の人材像を想定した履修モデルである。組織内・組織間での協働を活性化する創造的な組織デザイン、組織活動を成功に導く人材育成のための学習システムの開発やファシリテーション技法などについて専門的かつ実践的な能力を有する人材の養成をめざしている。

教育課程

社会情報学分野の人材に求められる専門性については、社会情報学を究めようと欲する者の 2 つの側面に着目して、体系的な教育を展開する。一つは、社会情報学をより専門性を高めて精深に授けることにより当該分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担える人材を養成するという一般的な側面であり、もう一つは、特に入学する者が既に学校機関、公益・非営利団体、企業法人等の領域にフィールドを持っている「職業人」に対しては、学習集団や組織を自律的に動かすために必要な協働的な組織環境や学習環境のデザイン能力、あるいはお互いに学び合い創発し合うコミュニケーションの促進能力を備えた人材を養成するという側面を有すると考えられる。具体的には、これら 2 つの側面に留意して、社会情報学研究科は全体としては 1 つの専攻（社会情報学専攻）に 2 つの専修コース「社会情報学コース」と「ヒューマンイノベーションコース」を設けている。専修コースの内容は以下のとおりである。

社会情報学コース：

人文・社会科学と理学・情報科学が融合して出来上がる社会情報学をより高度に学ぶということは、いわゆる文系、理系の枠を超えた識見を有することであるとの認識により、現代社会が抱えるさまざまな問題点を自分の力で見つけて、問題解決できる人材を養成できると考えられる。このような能力は、現代の輻輳した社会において、ファイナンス関連、経済や地域政策関連、情報システム関連等、あらゆる分野で活躍しようとする人々にとって必要不可欠なものとなっている。従って、このコースでは社会情報学に対して広い視野に立って精深な学識を身につけ、当該分野における研究能力又はこれに加えて高度に専門的な職業を担える人材が養成できる。

ヒューマンイノベーションコース：

さまざまな現場の「学び」をめぐる課題・可能性を、実証的な方法で読み解き、それを人・組織・社会の変革＝イノベーションへと結びつけることのできる人材の育成に重点を置いたコースである。認知科学を中心とした人・組織の「学び」に関する最先端の理論と研究方法を理解し、それを人材育成、組織変革、学校教育、医療・看護、地域活性化、コンサルティング、NPO 活動、行政サービスなどさまざまな現場の実証的かつ実践的な解明に結びつけることのできる、高度な研究力量を身につけることを目指す。

教育研究環境

社会情報学研究科は開かれた大学院として、社会情報学コースでは一般に広く既存の学部卒業生を入学者と想定しているのに対して、ヒューマンイノベーションコースでは主として学校機関、公益・非営利団体、企業法人等の領域にフィールドを既に持っている職業人の入学を想定している点異なる。その違いは、いずれのコースを修めようとも、徹底した少人数教育を行える点では顕在化しないが、社会情報学コースにあつては、基礎科目、専門科目、特殊科目、研究指導を履修していくに際して、特殊科目ではインターンシップを自由科目として設定し、現実社会での問題点を体感して、社会情報学が取り組むべき問題を自らが発見し、問題解決に取り組む学生の育成に留意している。本コースの学生は、相模原キャンパスで展開される科目を履修し、修了にあたっては修士論文を課している。一方、主として職業人の入学を想定しているヒューマンイノベーションコースにあつては、現場の理解とイノベーションの基礎となる認知科学関連科目の履修を勧めることは当然として、特に演習科目・実習科目において、フィールド学習を積極的に取り入れた多様な教育方法を展開することにより、専門的な知識や技能の習得と実践的な現場理解を統合的に捉えられる学生の育成に留意している。本コースの学生は青山キャンパスで展開される科目を履修すると共に、情報通信技術(ICT)を用いた学習支援の整備を徹底して、職業人である学生の教育の質保証を図る。本コースでは、修士論文、若しくは特定の課題についての研究の成果を課している。

社会情報学研究科 博士前期課程 3つのポリシー

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

①知識・技能

- ・研究テーマに関連する学部卒業相当の知識および技能を有している。

②思考力・判断力・表現力

- ・学部卒業相当のレベルで研究計画の立案、研究の実施、論文の執筆ができる。

③意欲・関心・態度

- ・「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った現代社会の諸問題に関心をもち、その解決を自身の研究テーマと結びつけて考える意欲を有している。
- ・研究倫理を遵守すること、および研究成果を社会的に還元することの重要性を理解している。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①知識・技能

- ・「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った現代社会の諸問題を理解するための基礎的な素養である英語関連科目と、社会科学系、情報科学系、人間科学系の複数の教員が共同で担当することで現代社会に対する多角的な視点を提供する「社会情報学特論」を課程全体の基礎科目として配置する。
- ・社会情報学コースでは、社会科学系、情報科学系、人間科学系の各領域に対して、社会情報学部での学びの延長線上に特論科目を専門科目として配置する。あわせて複数領域を跨ぐ履修モデルを提供することで、従来の学問領域の枠にとらわれない幅広い視野で現代社会の諸問題に多視点的にアプローチできる専門的な知識と技能の獲得を目指す。
- ・ヒューマンイノベーションコースでは、認知科学の基礎を理解するための概論科目、研究に関わる一連の技法の習得を目指す実習科目を基礎科目として配置したうえで、現場における学習現象の分析・理解に有用な専門科目を精選して配置することで、学習現象に対する科学的な理解と、現場についての実践的な理解を密接に関連させて研究を進めることのできる力量の形成を目指す。

②思考力・判断力・表現力

- ・「人間、社会、情報」の各領域を跨ぐ複雑な現象に学術的にアプローチしていくための分析の進め方や発想の仕方、および研究成果の効果的な発表方法などを、研究指導教員による個別指導を通して学ぶ研究指導科目を配置する。

③意欲・関心・態度

- ・研究指導科目における指導教員の個別指導を通して研究倫理、社会貢献に関する知識と意識を高めることを目指す。
- ・研究と実社会との接続を具体的に考える機会として「インターンシップ特別実習」を特殊科目として配置する。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

①知識・技能

- ・「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った現代社会の諸問題を分析的に把握し解決を試みるために必要な学術的知識・技能を身につけている。その上で1つ以上の専門領域について、十分理解できる。
- ・社会情報学コースにおいては数理的素養、論理的思考、コミュニケーション能力および情報

の活用に関する十分な知識・技能を身につけている。

- ・ヒューマンイノベーションコースにおいては「学習」および「組織・コミュニティ」に関する理論と研究方法について、十分な知識・技能を身につけている。

②思考力・判断力・表現力

- ・「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った現代社会の諸問題の解決を多角的に検討することのできる複眼的な思考力・判断力を有している。
- ・学術研究について、専門を共有していない相手に対しても的確かつ分かりやすく説明することのできる表現力を有している。

③意欲・関心・態度

- ・研究テーマに直接関連する事象だけではなく、より広い社会の諸問題を視野に入れて学習・研究を進めることができる。
- ・研究倫理を遵守して研究に取り組むことができる。
- ・研究成果を広く社会に還元する意欲を持っている。

他研究科および各専攻の教育研究上の目的やポリシーは、本学ウェブサイトにてご確認ください。

<https://www.aoyama.ac.jp/>

教 員 組 織

大学院社会情報学研究科

研究科長 長橋 透

社会情報学コース（コンビナー： 宮治 裕 ・ 寺尾 敦 ）

氏名の前の○印は 2027 年度入学者研究指導教員

※出願に伴い、必ず志願票に記載する希望指導教員と事前相談を行うこと（P. 18 参照）

事前相談の申込期限は第 1 期出願者は 7 月 14 日、第 2 期出願者は 10 月 6 日までとする。

なお、大学院説明会での個別面談でも可とする。

氏 名		講 義 科 目（予定）
教 授	○ 飯島 泰裕	情報社会特論 コンピュータシステム特論
	○ 石田 博之	環境エネルギー情報特論 経済シミュレーション特論
	○ 伊藤 一成	データベースシステム特論 ウェブテクノロジー特論
	○ 伊藤 由樹子	応用経済特論Ⅰ 社会人間特別講義（C）
	稲積 宏誠	データマイニング特論 ナレッジマネジメント特論
	○ 清成 透子	組織心理学特論 行動科学特論
	○ 寺尾 敦	社会統計特論 ウェブラーニング特論
	長橋 透	経済政策特論 応用経済特論Ⅱ
	○ 南部 和香 ※	環境エネルギー経済特論 公共経済学特論
	○ 伏屋 広隆	アクチュアリー特論 数理ファイナンス特論
	○ 皆木 健男	コーポレートファイナンス特論 インベストメント特論
	○ 松澤 芳昭	システム分析・設計特論 社会情報特別講義（C）
	○ 宮治 裕	プログラミング応用特論 コンピュータネットワーク特論
	○ 村田 和義	ヒューマンインタフェース特論 人間情報特別講義（B）
	Lambacher, S. G.	学術英語特論（A）
准教授	○ 上阪 彩香	人間情報特別講義（A） 人間情報特別講義（D）
	○ 大林 真也	社会調査特論 社会変動特論
	○ 勝村 史昭	社会人間特別講義（A） 社会人間特別講義（B）
	○ 川上 拓志	数理モデリング特論 離散数学特論
	○ 高村 正志	現象の数理特論 構造幾何学特論
	○ 吉田 葵	社会情報特別講義（A） 社会情報特別講義（D）
	米山 明日香	イングリッシュプレゼンテーション特別演習（A）

※ 第 2 期出願者対象

ヒューマンイノベーションコース（コンビナー： 高木 光太郎 ）

氏名の前の○印は 2027 年度入学者研究指導教員

※出願に伴い、必ず志願票に記載する希望指導教員と事前相談を行うこと（P. 18 参照）

事前相談の申込期限は第 1 期出願者は 7 月 14 日、第 2 期出願者は 10 月 6 日までとする。

なお、大学院説明会での個別面談でも可とする。

氏 名			講 義 科 目（予定）
教 授	○	高木 光太郎	状況的学習特論 状況的学習実践研究 学習学研究法Ⅱ 学習学原論
	○	香川 秀太	ポスト資本主義の理論と現場

その他講義科目（予定）

社会情報学コース	ヒューマンイノベーションコース
社会情報特別演習	社会情報特別演習
社会情報学特論	アフォーダンス特論
	人間理解のための現象学入門
	学術英語特論（B）
	創造的熟達論
	非営利組織の知識経営
	学習学研究法Ⅰ
	学習学研究法Ⅳ

社会情報学研究科博士前期課程 **学内進学者選抜試験**

学 位

本大学院において授与する修士の学位は次のとおりです。

社会情報学研究科社会情報学専攻 博士前期課程 修士（学術）

募集人員

社会情報学専攻博士前期課程

社会情報学コース	若干名	(就学キャンパス：相模原)
ヒューマンイノベーションコース	若干名	(就学キャンパス：青 山)

出願資格

出願時に本年度3月本学学部卒業見込みの者。

但し、所属学科の3年次終了時における成績順位（GPAによる順位）において上位1/3以内である者。

(お問い合わせは、相模原学務課までお願い致します。ただし、順位そのものに関するお問い合わせは承りません。)

※出願にあたっての注意事項

1. 出願の資格があるかを事前に審査いたします。期日までに必ず出願資格審査を申請すること。出願資格審査の結果は学生ポータルにて連絡いたします。
2. 必ず希望する研究指導教員と事前相談を行い、志願票に署名・捺印をもらうこと。（希望指導教員の自署・捺印が無い場合は出願無効となります。）ただし、教員と直接のやりとりが困難である場合には、特別に希望指導教員の承認がわかるもの（教員とやり取りのメール文をプリントアウトしたものなど）を出願書類に同封すれば、教員の署名・押印は特別になくてよいものとします。

出願資格審査

出願を希望する者は、出願書類を提出する前に出願資格審査を受ける必要があります。期日までに、次の書類を郵送もしくは学務課窓口で提出してください。

出願資格審査申請締切日：第1期（郵送）2026年7月1日（水）必着

（学務課窓口）2026年7月1日（水）17:00まで

第2期（郵送）2026年10月2日（金）必着

（学務課窓口）2026年10月2日（金）17:00まで

提出書類：(1)出願資格審査申請書
(2)学生証のコピー

※郵送の場合、必ず簡易書留とし、出願資格審査書類在中と朱書きしてください。

[送付先] ※「出願用封筒表紙」を使用する必要はありません。

青山学院大学 相模原事務部 学務課 社会情報学研究科担当 行

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1 TEL 042-759-6072 (ダイヤルイン)

試験科目

書類審査 および 口述試験

出願書類 *P.17 注意事項 1 参照

1. 入学志願票（本学所定用紙） **必ずコースを選択してください。**
2. 成績証明書
※本学の証明書は学務課で代理発行するため、提出不要です。
※本大学に編入学した者や単位認定を受けた者のみ、以前の大学、短期大学の成績証明書を提出してください。
※提出方法について、出身大学発行の成績証明書だけでなく、CHSI 発行の認証書の提出も認めます。出願書類には印刷した認証書を同封し、かつ電子データの認証書が出願期間内に CHSI から社会情報学研究科メールアドレスへ期間内に電子メールで直送されるよう、手配してください。印刷した認証書のみの提出や、志願者等による電子メールの転送は出願書類として認められません。
(社会情報学研究科：in-gssi@aoyamagakuin.jp)
3. 写真 1 枚（脱帽上半身、背景なし、タテ 4 cm×ヨコ 3 cm、カラー写真、最近 3 ヶ月以内に撮影入学志願票の所定欄に貼付）
※当該写真は、入学手続き時に、出願時と同一の写真データ（jpg または png 形式）をアップロードしていただきます。そのため、写真のデータ版もあらかじめ取得・保管しておいてください。
4. 入学検定料の収納証明書
※クレジットもしくはコンビニで入学検定料を振り込んだ際に受け取った収納証明書を、収納証明書貼付用紙（本学所定用紙）に貼り付けて提出してください。金額が訂正されたものは無効です。
5. 研究計画書
入学後の研究計画を、A4 版、横書き、2000 字程度で作成してください(タイピング推奨)。必ず記名してください。また、複数枚に渡る場合はそのすべてに記名をしてください。
6. 受験票送付用封筒 1 通 **※封筒種類に注意**
【長形 3 号封筒（120×235 mm）】
必ずボールペンにて**住所・氏名を明記**のうえ、**110 円切手を貼付**してください。
7. 宛先ラベル ※合格した場合の手続書類送付先を正確に、見やすくご記入ください。

入学検定料

35,000 円

支払方法

1. コンビニエンスストアまたはクレジットカードでのお支払
P. 15「コンビニ端末での入学検定料支払方法」または
P. 16「クレジットカードでの入学検定料支払方法」を参照のうえ、お支払いください。
2. 出願受付後、入学検定料は原則返還いたしません。

出願手続および期間

出願はすべて郵送受付とします。

第1期

〔受付期間〕

2026年7月28日（火）～7月30日（木）

出願書類一式を角形2号封筒（240×332mm）に入れ、簡易書留・速達で郵送してください。郵送の際は、封筒の表に必要事項を記入した所定の出願用封筒表紙を貼り付けてください。

〔注意事項〕

1. 消印有効です。受付期間を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
2. 必ず簡易書留・速達とし、出願書類一式を同封のうえ送付してください。受験票は、本人宛に郵送します。ただし、受付事務・郵便事情等により返送が多少遅れることがあります。試験日の3日前までに届かない場合には、学務課（042-759-6072）までお問合せください。
3. 一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。
4. 出願用封筒表紙は、カラーで印刷してください。白黒印刷の場合は上部「速達」部分を赤線で囲ってください。

第2期

〔受付期間〕

2026年10月20日（火）～10月22日（木）

出願書類一式を角形2号封筒（240×332mm）に入れ、簡易書留・速達で郵送してください。郵送の際は、封筒の表に必要事項を記入した所定の出願用封筒表紙を貼り付けてください。

〔注意事項〕

1. 消印有効です。受付期間を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
2. 必ず簡易書留・速達とし、出願書類一式を同封のうえ送付してください。受験票は、本人宛に郵送します。ただし、受付事務・郵便事情等により返送が多少遅れることがあります。試験日の3日前までに届かない場合には、学務課（042-759-6072）までお問合せください。
3. 一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。
4. 出願用封筒表紙は、カラーで印刷してください。白黒印刷の場合は上部「速達」部分を赤線で囲ってください。

〔送付先〕 ※出願時には所定の出願用封筒表紙を使用してください。

青山学院大学 相模原事務部 学務課 社会情報学研究科担当 行
〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1 TEL 042-759-6072（ダイヤルイン）

入学試験日

第1期 2026年9月5日（土）

第2期 2026年11月11日（水）

※今後の世の中の状況（感染症等）につき、日程が変更になる可能性もあります

入学試験場

試験は、青山学院大学 青山キャンパスもしくは相模原キャンパスで実施します。

なお、試験教室等の詳細は、出願後にお知らせします。

※受験票が届いたらご確認ください。変更になる可能性もあります。

合格発表(WEB)

合格発表を以下の通り、本学 WEB サイトにて行います。

第1期 2026年9月11日（金） 発表

第2期 2026年12月4日（金） 発表

* 合否判定の方法及び基準

提出書類、口述試験により、アドミッションポリシーで定める知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度を多面的・総合的に評価し、合否を判定します。

合格者のみ、入学手続き書類をお送りいたします。宛先は出願時に提出いただく宛先ラベル記載箇所となりますので、間違いのないように正確に記載してください。

WEB 合格発表から 5 日経ち、合格者一覧に記載があるにも関わらず書類が届かない場合は、学務課 社会情報学研究科担当に問合せてください。

「入学手続き書類」の不着、遅配等の事故を理由とした入学手続き期間の延長は認めません。

※合格発表は以下本学 WEB サイトで行います。必ず受験結果の合否をご確認ください。

大学院入学試験等に関するお知らせ | 青山学院大学 ([aoyama.ac.jp](https://www.aoyama.ac.jp))

<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html>

入学手続

合格者には、入学手続書類を郵送いたします。所定の期間内に手続書類を郵送して入学手続を完了してください。入学手続に関する詳細は、郵送する「入学手続要項」でご確認ください。

なお、期間中に手続きをしない者は入学を辞退したものと見なします。

「入学手続書類」の不着、遅配等の事故を理由とした入学手続期間の延長は認めません。

第1期合格者手続

第1次入学手続締切日： 2026年11月4日（水）

第2次入学手続締切日： 2027年3月1日（月）

消印有効です。締切日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
必ず簡易書留郵便とし、手続書類一式を同封のうえ送付してください。

第2期合格者手続

入学手続締切日： 2027年2月5日（金）

消印有効です。締切日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
必ず簡易書留郵便とし、手続書類一式を同封のうえ送付してください。

また、入学手続に際しては、入学手続納入金の他に以下のものが必要になります。参考を掲載しますが、詳細は合格者に送付される「入学手続要項」を参照してください。第2期合格者は下記の全て同時に必要となります。

【昨年度参考】

第1次入学手続時

- ・誓約書（本学所定用紙）
- ・住民票または住民票記載事項証明書（最近3ヶ月以内発行のもの）
（外国籍者は①「在留資格」「在留期間等」「在留期間等の満了の日」が記載された住民票及び②パスポートのコピー③在留カードのコピー）
- ・振込通知書（第1次入学手続用本学所定用紙）（銀行の収納印の押された大学院提出用）
- ・宛先記入ラベル（本学所定用紙）（第2次手続書類郵送用）（学年初頭案内等郵送用）

第2次入学手続時

- ・写真 1枚（縦4cm×横3cm枠なし、カラー写真）（学生証作成用）
 - ・学籍資料票（本学所定用紙）
 - ・学生通学住所登録用紙（本学所定用紙）
 - ・振込通知書（第2次入学手続用本学所定用紙）（銀行の収納印の押された大学院提出用）
- ※第2期合格者は、まとめて上記の入学手続書類が必要です。

コンビニ端末での入学検定料支払方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

↓

入学検定料等支払

LAWSON Loppi **MINISTOP Loppi**

<https://www.lawson.co.jp> <https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

↓

学び・教育・各種検定試験

↓

大学・短大・専門、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

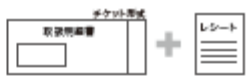
2 お支払い

①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**

②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。

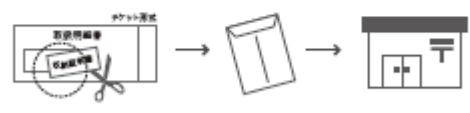


*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	605円
	入学検定料が5万円以上	825円

3 出願

「取扱明細書」または「払込受領証」の
「収納証明書」部分を切り取り、
入試要項などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある紙は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店舗ではお答えできません。

クレジットカードでの入学検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して入学検定料のお支払いが可能です。 VISA JCB 楽天カード 三井住友カード 三菱UFJニコス

インターネット申込・クレジットカード決済

出願



PCで下記にアクセス

<https://e-apply.jp/e/gs-aoyama>

1. トップページ	「申し込む」ボタンをクリック
2. 研究科選択	研究科を選択してください。
3. 入試選択	受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック
4. 留意事項	留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック
5. 基本情報入力	申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック
6. 申込内容確認	申込された情報を確認し、問題なければ「申込みする」ボタンをクリック
7. 受付番号確認	受付番号(12桁)を控え、「引き続き支払う」ボタンをクリック (登録されたメールアドレスにも通知されます。)
8. クレジットカード情報入力	支払に利用するクレジットカード番号(16桁)等必要な情報を入力し、「次へ」をクリック *お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。
9. 決済完了	完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。 *メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



郵便局から
郵送にて出願。



【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 入学検定料の他に、払込手数料(税込)が別途かかります。
払込手数料(税込):30,000円未満…手数料 664円、30,000円以上50,000円未満…手数料 1,041円、50,000円…手数料 1,163円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。

- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された入学検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

「クレジットカードでの入学検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合わせ先」をご覧ください。
「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。

注意事項

1. 志願者自身が作成した文章を提出してください。人工知能等が自動生成した文章や他者が作成した文章の提出を禁じます。
2. 二重学籍等
本学学生は、他大学大学院及び本学の他研究科または他専攻、並びに他大学及び本学の学部と併せて在学することはできません。
3. 一旦受け付けた書類、入学検定料は一切返還しません。
4. 受験票を紛失した場合は、速やかに学務課(042-759-6072)に電話して、指示に従ってください。試験当日に身分証明書を必ず持参してください。
5. 受験者は試験当日、受験票とともにお送りする案内で受験教室や伝達事項を必ず確認してください。なお、受験中は常に受験票を机の上に置いてください。
6. 試験開始から 20 分以上遅刻した者は、受験資格を失います。
7. 障がいや疾病、怪我などにより受験及び修学上の合理的配慮が必要な場合、「障がいのある学生の受入れ方針」に基づき、受験時に合理的配慮を提供します。合理的配慮を希望する方は、出願期間前に学務課社会情報学研究科担当に問い合わせてください。なお、場合によっては健康診断書等の提出を求めることがあります。
8. 問い合わせ先は次の通りです。但し、可否に関しては一切応じません。
青山学院大学 相模原事務部 学務課 社会情報学研究科担当
TEL 042-759-6072 (ダイヤルイン)
9. 入学手続を完了していても、入学時までには学士の学位を授与されない場合は、入学を許可しません。
10. 各種資格(司書教諭、司書、社会教育主事、学芸員)の取得に関する内容での不明な点については、出願前に予め学務課教職課程担当[042-759-6032 (ダイヤルイン)]に問い合わせてください。
11. 大学院入学試験に関する情報は本学 WEB サイト下記 URL でお知らせします。
<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/>

不正行為について

○出願書類に関する不正行為について

出願書類への虚偽の記載や証明書等の偽造が確認された場合は、当該年度の入学試験の結果を無効とします。また、入学後であってもこれらの不正が確認された場合には、遡って入学を取り消すことがあります。この場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用については返還しません。また、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

○試験時の不正行為について

試験時間中に下記に例示する行為を行った場合、または試験終了後に当該行為が確認された場合（入学後に判明した場合を含む）には、不正行為とみなされることがあります。また、試験時間中であっても、メガネ、マスク等の身に着けている物の確認を求める場合があります。

不正行為が確認された場合には、当該年度の入学試験の結果を無効とし、入学を取り消すことがあります（入学後においても遡って適用する場合を含む）。この場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用は一切返還いたしません。不正行為に対しては厳正に対処するとともに、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

（筆記試験）

- ・ カンニング（カンニングペーパー、参考書、他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、イヤホン、携帯音楽プレーヤー等を身に付けていること。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、時計、携帯音楽プレーヤー等の音（着信、アラーム、振動音等）を鳴らすこと。
- ・ 試験時間中に、問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・ 試験時間中に、答えを教える等の他の受験者を利するような行為をすること。
- ・ 試験時間中に、使用が認められている用具以外を机に置くこと。
- ・ 試験開始の合図、もしくは試験監督者の試験開始の指示の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
- ・ 試験終了の合図、もしくは試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
- ・ 試験終了後、解答用紙を提出しないこと。

（面接試験・口述試験）

- ・ 試験中に他の者と連絡をとりあうこと。
- ・ 試験の録画・録音をすること、およびそれらを SNS 等のインターネット上へ掲載すること。
- ・ 試験終了後に、これから当該試験を受験する他の受験者に試験の内容を伝えること。また、試験の内容を SNS 等のインターネット上へ掲載すること。

（共通）

- ・ 試験室において、試験監督者、係員等の指示に従わないこと。
- ・ 試験室において、他の受験者の迷惑となる行為および試験の運営の妨害となるような行為をすること。
- ・ 志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- ・ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

社会情報学研究科受験に際する事前相談について

社会情報学研究科の募集においては、本研究科の幅広い専門性のため、受験してくださる皆さんの本来やりたい研究や研究をやろうと考えている前提条件などが提出していただく書類だけでは、十二分に伝わりづらいことがあります。

つきましては、受験をご検討の皆さまにおかれましては、希望指導教員との事前相談を推奨いたします。事前相談では、受験の意図、様々な研究活動の可能性、研究科の指導内容や指導体制のマッチングについて、ご相談いただけます。充実した研究や学習を大学院生活で行えるように、ぜひ積極的に事前相談を受けられることをお勧めします。

また出願にあたっては、希望指導教員との事前相談を必須としています（大学院説明会での個別面談も可）。ご自身の研究テーマや計画が指導分野と合致しているか、必ず事前に確認を行ってください。

なお、事前相談は可否に関係ありません。

<相談方法>

次のいずれかを選択し、メールで以下連絡先までお申込みください。

(1)研究科全般に関する事前相談 ※直ちに受験を予定していない場合はこちら(随時申込可)

(2)出願に伴う事前相談 ※当該年度受験予定者はこちら(注意事項参照)

お申込みの際には、次の情報をメールの件名・本文に記載してください。なお、(2)を選択の場合は必ず全項目記載が必要です。

【件名】社会情報学研究科 研究科全般に関する もしくは 出願に伴う 事前相談希望

【本文】①氏名(フリガナ)

②学位の有無 ※有の場合は種別(学士・修士 等)と出身大学を記載

③現在のご所属(通学先・勤務先等)

④希望指導教員名 ※(1)を選択し、未定の場合は不要

⑤受験予定の入試種別、時期(第1期もしくは第2期) ※(1)を選択し、未定の場合は
不要

⑥進学後の研究テーマ・研究計画(概要)

【連絡先】

博士前期課程

社会情報学(SI)コース

in-gssi@aoyamagakuin.jp

ヒューマンイノベーション(HI)コース

hi-info@si.aoyama.ac.jp

博士後期課程

in-gssi@aoyamagakuin.jp

<注意事項>

- ・全入試種別において、出願される方は志願票に記載する希望指導教員との事前相談を必ず行ってください。
- ・出願に伴う事前相談は当該年度の4月1日よりお申込み可能です。申込期限は出願予定年度の募集要項を必ずご確認ください。期限後は受付致しかねますので、余裕をもってお申し込みください。

- ・募集要項は毎年6月より順次公開予定です。希望可能な指導教員を募集要項にて必ずご確認ください。教員の就任・退任等、やむをえない事情で前年度実施入試時点から変更となる可能性がありますのでご了承ください。
- ・事務窓口停止日についてはお取り扱いができませんので、ご注意ください。
 <窓口停止日：土・日・祝および指定日※以下ホームページでご確認ください>
休業及び入試期間中の事務取扱時間・閉室情報(スチューデントセンター) | 青山学院 大学
(aoyama.ac.jp) <<https://www.aoyama.ac.jp/life/schedule/contact>>
- ・メール送信後、休祝日を除く3営業日以内に返信がない場合にはメールの再送、もしくはお電話(042-759-6072)にてご連絡ください。

以上

学校保健法で出席の停止が定められている感染症における 入学試験の取扱いについて

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験生への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。

但し、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

学費等納入額の内訳について

2026 年度入学者用を参考として記載します。2027 年度入学者の学費等詳細については、合格発送に同封する入学手続要項に記載します。

学費等納入額内訳（2026 年度入学者参考）

費 目	金 額	備 考
学 費	入学金	0円 本学出身者は免除
	授業料	275,000円 年額550,000円
	在籍基本料	40,000円 年額80,000円
	施設設備料	37,500円 年額75,000円
	教育活動料	50,000円 年額100,000円
	小計	402,500円
諸 会 費	後援会費	2,500円 年額5,000円
	校友会費	0円 本学出身者は納入不要
	学会費	2,500円 年額5,000円
	小計	5,000円
入学時納入金合計		407,500円（後期分含まず）
初年度納入金合計		815,000円 後期分 407,500円を含む

（消費税は課税されません）

備 考

- 第 1 次入学手続・第 2 次入学手続の納入金額について（第 1 期のみ）

第 1 次入学手続時 納入金額 0 円（納入金額不要）

第 2 次入学手続時 納入金額 407,500 円（入学時納入金額より第 1 次納入金額を除いた額）

納入期限：2027 年 3 月 1 日（月）

後期分学費等は、入学後、後期に納入してください。

なお、第 2 次入学手続時に後期分学費等を併せて納入することもできます。

※第 2 期の入学手続は下記の通りです。

入学手続時 納入金額 407,500 円（入学時納入金額合計）

納入期限：2027 年 2 月 5 日（金）

- 学費等の改定について

今後、経済情勢に応じ学費等の改定が行われた場合は、在学生にも改定後の学費等を適用することがあります。

- 授業料後払い制度について

国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望する方は、青山学院大学学生生活部学費・奨学金課（03-3409-7945）syougakukin@aoyamagakuin.jp までご連絡の上、出願期間中に必要な手続きをとってください。※外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は対象外です。

【申請要項URL】 ※2026 年度入学者参考
https://www.aoyama.ac.jp/wp-content/uploads/2025/03/af_scholarship_26atobarai1.pdf

【申請要項QRコード】 ※2026 年度入学者参考



4. 入学辞退について

本大学院の入学手続を完了した後、やむを得ぬ事情により入学辞退することになった場合、入学金を除く納入金を返還いたします。詳しくは、合格者にお送りする「入学手続要項」をご覧ください。入学辞退締切日は **2027 年 3 月 31 日（水）17 時**です。

青山学院大学大学院特別給付奨学金

青山学院大学大学院特別給付奨学金は、青山学院大学大学院の活性化に向けて、大学院進学における金銭的負担の軽減を図り、本学学部生の本大学院への進学を促進することを目的とする給付奨学金の制度です。 ※貸与奨学金ではありません。

奨学給付額

授業料年額の2分の1に相当する額が上限となる。

※給付額は入学後に決定されます（給付対象学生数により減額の場合あり）。

給付方法

入学時は入学手続き時に所定の学費等を納付し、入学後に奨学金を給付します。なお、1年次後期以降は原則として学費請求時において、奨学金相当額の納付を免除することにより給付予定。

給付期間

入学後2年間（休学による給付休止期間を含む）

申請期間

出願受付期間に準ずる

申請方法

入学志願票の所定欄に記入

採用者の決定

選考結果の通知 入学試験合格発表時

申請資格

奨学金の給付を受けることができる学生は、本大学院研究科(理工学研究科を除く)への学内進学を希望する青山学院大学の学部在学している者で、次に規定する全てを満たすものとする。

- (1) 本大学院研究科の次のいずれかの課程への学内進学に係る被推薦資格を有する者であること。
 - イ 博士前期課程又は修士課程(修業年限が2年のものに限る。)
 - ロ 一貫制博士課程
 - ハ 専門職学位課程(修業年限が2年のものに限る。)
- (2) 2026年4月1日において、当該基準日の属する年度の末日までに卒業する見込みが立つ者であること。
- (3) 2026年5月1日において、在学する学科における成績上位者15パーセント以内の者であること。

※ 上記「申請資格(3)」の成績要件を満たしているか事前に確認を希望する場合は、出願期間前に余裕をもって、所属学部の教務課(学務課)窓口までお問い合わせください。

出願資格審査申請時にあわせて確認を希望する場合には、申請書にご記載ください。

※ 本学及び学校法人青山学院における他の奨学金の給付を重複して受けることはできません。

※ 詳細は「青山学院大学大学院特別給付奨学金規則」に規定

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

青山学院大学大学院社会情報学研究科

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1

電話 042-759-6072 (ダイヤルイン)

青山学院大学大学院入学志願票

2027年度

入学試験種別		受験番号	※記入不要		
学内進学者選抜					
課程 ・ 研究科 ・ 専攻 ・ コース		入学試験期別(該当する入学試験期別を○で囲む)			
博士前期 課程		第一期 ・ 第二期			
社会情報学 研究科		社会情報学 専攻			
コース(博士前期課程のみ○で囲む) 社会情報学 ・ ヒューマンイノベーション コース					
フリガナ _____		性別	本籍地	写真貼付 1. 4×3cm枠なし 2. 上半身正面脱帽 3. 最近3カ月以内撮影のもの 4. 全面糊付け 5. 裏面に氏名記入 6. カラー	
氏 名					
生年月日(西暦) 年 月 日 (歳)		都・道・府・県 (外国籍の場合は国籍を記入)			
現住所 〒 _____					
電話番号 ()		携帯電話番号 ()			
学歴 (高等学校以降のすべての学歴を記入すること)					
高等学校 (西暦) 年 月 卒業					
大学 学部 学科 年 月 入学					
大学 学部 学科 年 月 卒業 ・ 卒業見込					
職歴 (アルバイトの記入は必要ない)					
(西暦) 年 月 ～ 年 月 退職 ・ 在職					
年 月 ～ 年 月 退職 ・ 在職					
※必ず下欄を記入してください。					
学生番号					演習担当者 又は指導教員

氏 名

受験番号 ※記入不要

◎下記すべての項目について必ず記入すること。(但し、出願時に論文を書いていない場合は題目の記入不要。)

卒業論文題目	
学部における主な研究内容	
入学後の研究主題及び研究計画の概要	
修了後の進路希望(具体的に記入すること)	
青山学院大学大学院特別給付奨学金希望	する ・ しない (いずれかを必ず○で囲む)
希望研究指導教員の署名・捺印 (要項に記載された教員1名)	※教員と直接のやりとりが困難である場合には、特別に希望指導教員の承認がわかるものを同封することで署名・捺印に替えることも可。その場合、教員名を必ず自身で記入すること。 ㊟

2027 年度 社会情報学研究科博士前期課程（学内進学者選抜試験）
研究計画書

受験番号	※
------	---

※記入不要

所属学部		学生番号							フリガナ	
所属学科									氏 名	
入学希望コース									研究指導希望教員	

↓本文はここから書いてください

出願資格審査申請書

私は、2027 年度青山学院大学大学院社会情報学研究科博士前期課程学内進学者選抜試験に出願を希望しますので、出願資格審査を申請致します。

申請日	年 月 日
学部学科	
学年・クラス・番号	年 組 番
学生番号	
フリガナ 氏 名	

※出願資格審査に加えて、青山学院大学大学院特別給付奨学金の成績要件を満たしているか確認を希望される場合は、以下に○をしてください。希望しない場合には記入不要です。

【 成績要件の確認を希望する 】

順位	結果	奨学金要件	ポータル
／			／

受付印

貼付用紙

【入学検定料】

※連絡先には日中連絡が付きやすい電話番号を記入のこと

收納証明書 貼付欄

支払方法（当てはまるものに○をつけてください）

- ・コンビニ
- ・クレジット

宛先記入ラベル

(住所)

(氏名)様

研究科	コース

<注意事項>※ 宛先住所・氏名・志願研究科・コースを記入してください。
※ 宛先の「様」を「行」に訂正しないでください。

宛先記入ラベル

(住所)

(氏名)様

研究科	コース

<注意事項>※ 宛先住所・氏名・志願研究科・コースを記入してください。
※ 宛先の「様」を「行」に訂正しないでください。

※ページ中央線で切り取り、ラベル部分のみご提出ください。

簡易書留・速達料金分の切手を貼ってください。

速 達

2 5 2 - 5 2 5 8

神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1

青山学院大学相模原事務部学務課

社会情報学研究科担当 行

簡易書留

速達

「コース」「課程」「区分」「期別」は該当するものを○で囲んでください。

差 出 人	志 望	研 究 科	社 会 情 報 学
		専 攻	社 会 情 報 学
		コ ー ス (博士前期課程のみ)	社会情報学・ヒューマンイノベーション
		課 程	博士前期・博士後期
		区 分	学内選抜・一般入試・社会人入試・科目等履修生試験
		期 別	第一期・第二期・科目等履修生試験
	住 所	〒 ー 電話 ()	
	氏 名	フリガナ	

《注意事項》

1. 出願書類は募集要項で確認し、漏れのないよう点検してからお送りください。
2. 郵便局窓口で簡易書留・速達扱いの手続きをして郵送してください。
3. 願書受付最終日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。